

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 令和6年度事業計画（委員会単位）

(グローバルビジネス委員会関係事業) - R06計画

事業	事業項目	内容	担当	月												収入予算	支出予算	備考	
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
グローバル ビジネス 発展・普及 事業	行政や関係機関と連携した海外の業界団体および企業との連携事業 (IV-1-(1)-ab)	1.世界24の国と地域的情サ団体が一室に集うJISA・Asocio40周年記念交流イベント(24年11月)など、連携団体との協働によるMISA会員企業の国際連携利益を醸成する 2.既存交流団体(JISA,CISA等)や、今後MISA会員企業の国際連携利益を高めると考えられるASEAN(PIKOMなど)、世界各国の業界団体との積極的な交流	グローバル ビジネス 委員会	内容精査														50千円 (接待交際費)	1)については各団体と歩調を一にし、可能な限り高いシナジーによりMISA会員企業への中長期的利益の実現が肝要であるため大枠の方針を定めた上で、個別の実施イベントや活動については柔軟性を持って計画する。 2)については、現交流団体(JISA,CISA)のみならず、会員企業や地元関係各所(宮城県、仙台市、その他公的機関や東北大学など地元学術機関等)との連携を高めることにより、当会の利益の実現も期待されることから、特定の地域・国・分野に捉われず、きつことのないよう、機動力を発揮していきたい。 *1主に今後の連携効果が見込まれる関係団体幹部らとの交流の際の土産物、接待交際費のみが必要と思われる(会場費、研修などは持ち出しで可能であり、特段の費用は必要ない)、令和6年度税制改正大綱の「交際費等の損金不算入制度の拡充」による損金の算入拡大から概算算定(6相手先×税込1万円程度)。
	ICT CONFERENCE (I-1-(1)-a)	当協会に対し会員・外部からの理解促進を図るため、コミュニケーションツールとしてのイベントを開催する。 ※但し、本来業務である「国際関連事業」と趣旨が異なるという議論が従前よりあるため、抜本的再検討を要する。		内容精査														300千円 (会場費 講師謝金 通信運搬費 印刷製本代)	*過年度実施状況での良い点、課題を踏まえ、実施時期については慎重に検討をすべきである(委員会内、外広く) *当委員会主導で企画、実施をする場合はVISONと中長期計画を踏まえ、国際関連のテーマに沿った講演イベントを企画すべきであるが、特段の要請等がある場合は、事前にステークホルダーらと丁寧な協議の上、企画を実施する必要がある
	国際人材(留学生、域内滞在国際人材、および新規招聘人材)の採用促進事業 (I-1-(1)-a)	1.域内最大の留学生を擁する東北大学などを中心に、域内の大学、専門学校、専修学校などと連携し国際人材の採用の可能性を検討する 2.上述交流事業から公的団体、関連団体と連携することにより、域内滞在国際人材の採用の機会を検討する 3.関係各国の団体、政府らと連携し新たに招聘する国際人材との連携の機会を模索する		関係機関との協議・ヒアリング															

(注1) 事業項目欄の()内は事業計画書の項目Noを示す。

(広報委員会関係事業) - R06計画

事業	事業項目	内容	担当	月												収入予算	支出予算	備考			
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
広 報 事 業	当協会内部及び外部へ、当協会の理解を深めてもらうため、各種広報誌を作成し、会員、関係機関・団体、一般公共施設等に加え大学、高等、専門学校、高校などにも配布する。また、MISAホームページ、MISA Facebook及びメディアへの継続的な情報を提供し、協会のプレゼンス向上に努めると共に会員企業への公平・公正な情報発信をおこなう。		広報委員会																		
	協会情報誌による情報発信 (I-4-(1))	・MISA情報誌：年2回発行 発行部数は1回当たり600部とする。 第55号を4月、第56号を10月に発行する。 ・協会情報誌発行：6月 ※今年度は組織等に変更がないため更新しない。																300千円 (広告料)	1,200千円 (通信運搬費 印刷製本代 謝金等)	・MISA情報誌 経営委員会アンケート結果、表紙用MISAフォトコンテスト実施、MISA会員企業NEW技術情報掲載、会員企業インタビュー ・協会情報誌発行	
	MISAホームページ&MISA SNSによる情報発信 (I-4-(2))	・MISA関連イベントをホームページとFacebookを活用しMISA内外にタイムリーに情報を発信することでMISAのプレゼンス向上を図る。 対外的な情報発信に加えMISA会員に対し親しみやすく且つ有益な情報も提供する。																	150千円 (委託費 通信運搬費)	・MISAホームページ「各委員会ページ」の更新状況確認、外部からのアクセス分析及びアクセス数向上施策検討及び実施 ・MISA SNS「グローバルな「いいね」獲得数向上、Facebook活用、及び外部からのアクセス分析及びアクセス数向上施策検討及び実施、東北の「いいね」情報発信、IT業界の「いいね」情報発信 ・情報発信方法の見直し	
	MISA公式SNS開設による知名度向上 (I-4-(3))	・最新のSNS利用率等より、新規ターゲット層が多く利用するSNSを調査し、新たなMISA公式SNSを開設、情報発信することで、知名度向上、新規会員、人材確保に貢献する。																			
	PR動画による認知度向上 (I-4-(5))	・MISAのPR動画を制作し、認知度向上を図る。ターゲットを対外向けと人材確保用の2種類制作を目指し、今年度は対外向けPR動画の完成を目指す。																	700千円 (動画制作・準備費)		
	MISA会員企業及びメディアへの情報発信(ニュースリリース) (I-4-(6))	・MISA会員企業への公平・公正な情報発信をおこなう。 ・MISAの特徴的な行事を取り上げ新聞等のメディアに情報提供するとともに集客に努める。																			・MISA会員への情報発信 情報発信方法の改善策検討 ・プレスリリース 報道機関向けプレスリリースの検討及び活用(MISAホームページ掲載等) ・各省庁からの有益な情報(MISA会員にメリットの有る)を発信する。

(注1) 事業項目欄の()内は事業計画書の項目Noを示す。